



## 2020年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年4月14日

上場会社名 株式会社Gunosy 上場取引所 東  
 コード番号 6047 URL https://gunosy.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役 最高経営責任者 (氏名) 竹谷 祐哉  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者 (氏名) 間庭 裕喜 (TEL) (03) 6455 - 4560  
 四半期報告書提出予定日 2020年4月14日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年5月期第3四半期の連結業績（2019年6月1日～2020年2月29日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第3四半期	11,291	1.0	500	△73.0	484	△73.7	219	△87.2
2019年5月期第3四半期	11,182	41.9	1,856	35.5	1,843	34.6	1,717	94.9

(注) 包括利益 2020年5月期第3四半期 208百万円 (△87.9%) 2019年5月期第3四半期 1,715百万円 (104.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第3四半期	9.32	9.13
2019年5月期第3四半期	73.30	71.12

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年5月期第3四半期	13,323	10,762	80.0
2019年5月期	13,982	10,985	77.7

(参考) 自己資本 2020年5月期第3四半期 10,656百万円 2019年5月期 10,861百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2020年5月期	-	0.00	-	-	-
2020年5月期（予想）	-	-	-	-	-

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2020年5月期の配当予測につきましては、現在未定であります。

### 3. 2020年5月期の連結業績予想（2019年6月1日～2020年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	△6.8	1,000	△56.6	960	△58.0	565	△71.9	24.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(注) 特定子会社の異動には該当しませんが、第1四半期連結会計期間において、連結子会社でありました株式会社LayerXの株式の一部を譲渡したことにより、連結の範囲から除外しております。また、株式会社Grillを第2四半期連結会計期間より、株式会社Smarpriseを当第3四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年5月期3Q	23,877,774株	2019年5月期	23,799,774株
② 期末自己株式数	2020年5月期3Q	435,217株	2019年5月期	157,600株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年5月期3Q	23,553,379株	2019年5月期3Q	23,429,698株

(注) 自己株式数については、株式付与ESOP信託口が所有する当社株式（2019年5月期：157,600株、2020年5月期3Q：142,417株）を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年5月期第3四半期の個別業績（2019年6月1日～2020年2月29日）

個別経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		四半期純利益		1株当たり 四半期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
2020年5月期第3四半期	10,245	3.9	446	△69.7	347	△76.5	14.77
2019年5月期第3四半期	9,864	31.0	1,474	6.9	1,482	56.2	63.28

2. 2020年5月期の個別業績予想（2019年6月1日～2020年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,500	△4.9	820	△55.3	436	△74.8	18.56

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	7
(四半期連結損益計算書関係) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループをとりまく経営環境につきましては、国内におけるスマートフォンの保有者の割合が2018年に64.7%と前年比3.8ポイント増加するなど、スマートフォンは引き続き急速に普及しており（総務省調べ）、また、2019年の広告費は6兆9,381億円と8年連続で成長を続けております。とりわけインターネット広告費につきましては前年比119.7%の2兆1,048億円と、広告費全体の成長を牽引する成長となりました（株式会社電通調べ）。

このような状況の下、当社グループは、当第3四半期連結会計期間において、第1四半期連結会計期間に引き続き、当社アプリ共通でのクーポンの拡充や、グノシーにおけるオリジナルコンテンツ「トレンド超予測」の配信開始など、動画領域における新規コンテンツの展開を含め、新たなコンテンツや施策の展開を行ってまいりました。また、各サービスのユーザビリティを高めるべく、引き続き日々ユーザーインターフェース/ユーザーエクスペリエンスの改善を行っております。さらに、広告主の新たなニーズに応えるべく、アプリ広告主様向けの動画アドネットワーク「Vingo Ads」をリリースするなど、広告配信機能の新たな開発や展開にも注力してまいりました。

収益面に関しては、上記の施策等によるアクティブユーザー数の堅調な積み上がりにより、当第3四半期連結累計期間において、Gunosy Adsに係る売上高を6,044百万円計上いたしました。また、アドネットワークに係る売上高は堅調に推移し、当第3四半期連結累計期間で4,137百万円を計上いたしました。その他、連結子会社でありました株式会社LayerXの株式の一部を譲渡したことにより、関係会社株式売却益90百万円を計上いたしました。

費用面に関しては、引き続きユーザーの獲得のためテレビCM等のプロモーション施策を積極的に展開し広告宣伝費2,324百万円を計上したほか、アクティブユーザー数が増加した影響により、サーバー費用が増加いたしました。その他、連結子会社である株式会社digwell（旧：株式会社Kumar）の株式取得時に想定していた超過収益力を見込めなくなったことに伴い、のれんの未償却残高及び関連する無形固定資産を減損したことにより、減損損失127百万円を計上いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高11,291百万円（前年同四半期比1.0%増）、経常利益484百万円（前年同四半期比73.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益219百万円（前年同四半期比87.2%減）となりました。

なお、「グノシー」及び「ニュースパス」「LUCRA（ルクラ）」合計の国内累計ダウンロード（以下、「DL」という）数は当第3四半期連結会計期間末において5,634万DLとなり、前連結会計年度末比で1,036万DLの増加となりました。

当社グループには、メディア事業以外の重要なセグメントが無いため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて658百万円減少し、13,323百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少（前連結会計年度末比2,241百万円の減少）、売掛金の増加（前連結会計年度末比364百万円の増加）、流動資産のその他の増加（前連結会計年度末比500百万円の増加）、投資有価証券の増加（前連結会計年度末比535百万円の増加）であります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて435百万円減少し、2,561百万円となりました。主な要因は、買掛金の増加（前連結会計年度末比170百万円の増加）、未払金の減少（前連結会計年度末比198百万円の減少）、未払法人税等の減少（前連結会計年度末比282百万円の減少）、流動負債のその他の減少（前連結会計年度末比107百万円の減少）であります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて223百万円減少し、10,762百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加（前連結会計年度末比210百万円の増加）、自己株式の増加（前連結会計年度末比483百万円の増加）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月期通期の連結業績予想につきましては、2020年1月14日に公表いたしました数値を変更しております。詳細につきましては、本日（2020年4月14日）公表いたしました「2020年5月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,157	8,915
売掛金	995	1,360
その他	425	925
流動資産合計	12,577	11,202
固定資産		
有形固定資産	75	292
無形固定資産		
のれん	284	171
その他	19	39
無形固定資産合計	303	210
投資その他の資産		
投資有価証券	628	1,164
繰延税金資産	139	78
その他	256	375
投資その他の資産合計	1,024	1,618
固定資産合計	1,404	2,121
資産合計	13,982	13,323
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,167	1,337
未払金	679	481
未払法人税等	297	15
前受金	624	591
ポイント引当金	—	13
株式給付引当金	17	5
その他	207	99
流動負債合計	2,993	2,543
固定負債		
繰延税金負債	—	5
株式給付引当金	3	12
固定負債合計	3	17
負債合計	2,996	2,561
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,046	4,077
資本剰余金	4,046	4,077
利益剰余金	2,940	3,151
自己株式	△169	△653
株主資本合計	10,862	10,652
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1	△1
為替換算調整勘定	0	5
その他の包括利益累計額合計	△1	3
新株予約権	67	87
非支配株主持分	56	18
純資産合計	10,985	10,762
負債純資産合計	13,982	13,323

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)
売上高	11,182	11,291
売上原価	5,807	6,458
売上総利益	5,374	4,832
販売費及び一般管理費	3,518	4,331
営業利益	1,856	500
営業外収益		
受取利息	0	0
講演料収入	0	0
助成金収入	0	0
その他	0	0
営業外収益合計	1	1
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	8	6
固定資産売却損	4	—
株式交付費	0	0
本社移転費用	—	7
その他	1	2
営業外費用合計	13	17
経常利益	1,843	484
特別利益		
投資有価証券売却益	391	—
関係会社株式売却益	—	90
新株予約権戻入益	—	0
特別利益合計	391	91
特別損失		
減損損失	—	※1 127
特別損失合計	—	127
税金等調整前四半期純利益	2,235	448
法人税、住民税及び事業税	503	186
法人税等調整額	19	60
法人税等合計	522	246
四半期純利益	1,712	202
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	△17
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,717	219

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)
四半期純利益	1,712	202
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	0
為替換算調整勘定	1	5
その他の包括利益合計	2	5
四半期包括利益	1,715	208
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,720	225
非支配株主に係る四半期包括利益	△4	△17

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年10月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式292,800株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が499百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が653百万円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において、連結子会社でありました株式会社LayerXの株式の一部を譲渡したことにより、連結の範囲から除外しております。なお、連結の範囲から除外するまでの期間損益は四半期連結財務諸表に含めております。

また、特定子会社の異動には該当していませんが、第2四半期連結会計期間に株式会社Grillを新たに設立し子会社化したことに伴い、同社を連結の範囲に含めております。当第3四半期連結会計期間において、株式会社Smarpiseを子会社化したことに伴い、同社を連結の範囲に含めております。

(四半期連結損益計算書関係)

## ※1 減損損失

当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)

場所	用途	種類	金額
東京都港区	事業用資産	無形固定資産(その他)	2百万円
—	—	のれん	125百万円
合 計			127百万円

## ① 減損損失の認識に至った経緯

のれんについては、当社の連結子会社である株式会社digwell(旧:株式会社Kumar)の株式取得時に想定していた超過収益力が見込めなくなったことから、のれんの未償却残高を減損損失として計上しています。また、関連する無形固定資産(その他)についても、収益性の低下により投資の回収が困難と見込まれたため減損損失を計上しております。

## ② 資産のグルーピングの方法

当社グループでは、主として事業の区分をもとに概ね独立したキャッシュ・フローを生み出す最小単位によって資産のグルーピングを行っております。

## ③ 回収可能性の算定方法

回収可能価額は使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローが見込まれないため回収可能価額をゼロとして算定しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当社グループには、メディア事業以外の重要なセグメントが無いため、セグメント情報の記載を省略しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当社グループには、メディア事業以外の重要なセグメントが無いため、セグメント情報の記載を省略しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループには、メディア事業以外の重要なセグメントが無いため、セグメント情報の記載を省略しております。なお、当第3四半期連結累計期間の減損損失は127百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

当社グループには、メディア事業以外の重要なセグメントが無いため、セグメント情報の記載を省略しております。

なお、当社の連結子会社である株式会社digwell(旧:株式会社Kumar)の株式取得時に想定していた超過収益力が見込めなくなったことから、のれんの未償却残高を減損損失として計上しています。当該事象によるのれんの減少額は、当第3四半期連結累計期間においては125百万円であります。

また、株式会社Smarpriseの株式を取得し連結子会社としたことにより、新たなのれんが発生しております。当該事象による当第3四半期連結会計期間末ののれんの未償却残高は116百万円であります。